キャラクター名: アンペローム・ペラスコーノ

プレイヤー名:

シンドローム	ブラックドッグ エグザイル	ワークス	FHマーセナリーB	カヴァー	ヒモ
オプショナル		年齢	28	性別	男
覚醒	感染	衝動	加虐	初期侵食率	33 %
出自	名家の家系	経験	大恋愛	邂逅	愛情

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4		0			4
感覚	2	1	0			3
精神	1		0			1
社会	1		0			1

HP	29
行動値	7
(非装備時)	7
戦闘移動	12
全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ			交渉		
回避			知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報： FH		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
骨の銃	射撃	3r-1	-	Lv+5+2D		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
【98】遺産継承者/レガシー	P	N		
ニコパ・ペラスコーノ	P 信頼	N 恐怖		
アンジェラ・フリート	P 純愛	N 恥辱		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
スタンボルト	1	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：	ダメージを与えた対象に放心付与							
雷の残滓	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：	命中した対象にランクLvの邪毒付与							
うごめく弾丸	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：	ダメージを与えた対象に重圧付与、Lv回/1シーン							
踊る髪	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：	ダメージを与えた対象に硬直付与							
ブレインハック	1	10	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果：	命中した対象に任意を対象とした憎悪を付与、1回/1シーン							
オールレンジ	5	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：	判定＋LvD							
コンセントレイト	2	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果：	C値−Lv							
骨の銃	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	「骨の銃」作成							
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

インディアン呪術を操る女たらし系FHマーセナリー。ツラがよくロが達者、真面目にコツコツなんてまっぴらで、汗水垂らすよりはそれっぽい愛を囁く方がまだまし。働くくらいしか能のないキャリアウーマンに寄生しダラダラと生活していた折に、祖母に授かったハンカチーフに触れることでオーヴァードに覚醒。代償を払うことで対象に様々な不調を発症させる彼の能力は、戦闘におけるジャマー役として貴重であり、FHから戦闘員としてスカウトが掛かった。彼の頭にあるのは、ヒモと仕事のどちらが割にいいのか、どうしたらできるだけ労力を掛けずにできるだけ多くの恩恵を受け取れるか。少なくとも彼がこの仕事を受け取ったということは、この仕事が女とダラダラ暮らすより割にいいということだ。

本来、彼の呪術は自分にとって大切な資産――例えば、肉体の一部や思い出の物品といった愛着の湧いたもの――を生贄とすることで、そのコストに見合った損失を相手に与えるという能力である。しかし、自分の何かを犠牲にすることなんてのは彼はまっぴらごめん。代わりに生贄として捧げるのは……彼のことを愛した女性たちである。抜け落ちた長い黒髪、お気に入りの口紅、記念日にプレゼントされたアクセサリー。たとえ彼がこれっぽっちも惚れていなくとも、彼を愛する女性たちは彼にとって資産であると判定されると知った彼は、適当にダマくらかした女性が自分に向ける愛情が最高潮に達したと感じた夜に彼女たちを殺し、彼女の遺品を回収する。彼に向けられた呪詛を込めて放つクロスボウを無駄な贅肉を削いだ骨を組み合わせて造ったら仕事道具一式の完成である。愛する者を犠牲とすることで完成する呪術は極めて強力で、殺人犯に向けられるはずの憎悪や呪詛は矢が命中した対象にすべて向けられる。痙攣、動悸、吐血に眩暈、おまけに意識の混濁。まるで無理心中を図ろうかという勢いで対象を苦しめるインディアン式の呪術はじわりじわりと標的を追い詰める。天性の性分が半分、ハンカチーフのサイドエフェクトが半分。彼はこの一連の行程に全く罪悪感を感じておらず、考えることといったら馬鹿女におべっか使わずに大金が手に入る血生臭いFHの依頼の後に何を食べに行くかくらいのことである。